

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
相羽 洋子			
火2、金3			
添付ファイル			

科目の概要	公衆衛生学とは、地域社会の組織的な努力によって疾病を予防し、寿命を延長し、身体的ならびに精神的能力を増進するための技術と科学であり、人、地域社会および国民全体の「健康」を最終目標とする学問である。この授業では、公衆衛生の概念とその重要性に関する知識を得ることを目標にし、健康に関する諸問題を理解し健康の保持・増進を実践できるよう講義する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、生活習慣の現状と対策 ・授業の進め方の説明 ・健康の定義と生活習慣病との関連</p> <p>第2回 健康日本21、健康日本21（第2次） 健康日本21の策定と評価、健康日本21（第2次）の取り組みと今後の課題</p> <p>第3回 身体活動・運動、喫煙行動、飲酒行動 身体活動・喫煙・飲酒の現状、その健康影響と社会的問題</p> <p>第4回 睡眠・休養、ストレス、歯科保健行動と歯科疾患 睡眠・休養・ストレスの概念、歯科保健行動と歯科疾患</p> <p>第5回 がん、循環器疾患の疫学と予防対策 がん及び循環器疾患の発生要因と予防</p> <p>第6回 代謝疾患、骨・関節疾患の疫学と予防対策 代謝疾患及び骨・関節疾患の発生要因と予防</p> <p>第7回 感染症 感染症及び予防接種の概要と分類</p> <p>第8回 精神疾患、その他の疾患、自殺・不慮の事故・虐待・暴力 精神疾患やその他の疾患の現状と保健対策、自殺・不慮の事故・虐待・暴力の現状や対策</p> <p>第9回 まとめ、中間試験 第1回から第8回まで学習した内容を復習し、中間試験を行う。</p> <p>第10回 保健・医療・福祉の制度 社会保障の概念及び医療制度・福祉制度</p> <p>第11回 地域保健 地域保健活動の概要</p> <p>第12回 母子保健、成人保健 母子保健事業、特定健康診査・特定保健指導</p> <p>第13回 高齢者保健・介護 介護保険法及び要介護認定・介護サービス</p> <p>第14回 産業保健 産業保健の現状と対策及び労働衛生の3管理</p> <p>第15回 学校保健、国際保健、まとめ 学校保健及び国際保健の概要 第10回から第15回まで学習した内容を復習する。  定期試験を行う。</p>
学習到達目標	日本の主な疾患の現状について学び、疾患の発生と予防の観点を理解する。我々のライフステージにおける保健の現状と課題について知り、保健、医療、福祉、介護等の制度について説明できるようになる。
授業の方法	教科書と配布したプリントを使用した講義形式で行う。随時、講義該当部分の国家試験過去問題を提示して理解を深める。
成績評価の方法	筆記試験（定期試験と中間試験）（80%）、レポートと授業への参加態度（20%）により総合的に判断する。
教科書・テキスト	社会・環境と健康 改訂第6版 古野純典・辻 一郎・吉池信男編、南江堂
参考書	国民衛生の動向 2020-2021（（一財）厚生労働統計協会） 他は必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、健康や公衆衛生に関する社会的な話題に関心をもつこと。
履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の科目の勉強、等は厳禁とする。

オフィスアワー	月曜日 3限、4限
課題に対する フィードバックの 方法	レポートの返却
実務経験	薬剤師、衛生工学衛生管理者、衛生管理者
その他	